

2021年度工学科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 合格再履欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		繊維・ファイバー工学コース	週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履													
						バイオベース以外	バイオベース		1～2年次		①	②					③	④											
									春	秋																			
数 学 系	数理応用演習	Exercises in Mathematics, Advanced	井川 治・矢ヶ崎達彦・朝田 衛	1	講義・演習	○	○		2				週1回8週開講。本学学部科目「数理応用演習」の既修得者は履修不可。 2021年度開講せず																
	数理科学特論 I	Mathematical Sciences I	武石拓也・奥山裕介・朝田 衛	2	講義	○	○		2				電・情・機物・機設																
	数理科学特論 II	Mathematical Sciences II	磯崎泰樹・峯 拓矢	2	講義	○	○		2				電・情・機物・機設																
	数理科学特論 III	Mathematical Sciences III	井川 治・矢ヶ崎達彦	2	講義	○	○		2				電・情・機物・機設																
	数理応用代数	Algebra and its Applications	朝田 衛	2	講義	○	○		2			本学学部科目「数理応用代数」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)																
	数理応用幾何	Geometry and its Applications	井川 治	2	講義	○	○		2			本学学部科目「数理応用幾何」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)																
	数理応用解析	Mathematical Analysis and its Applications	武石拓也	2	講義	○	○		2			本学学部科目「数理応用解析」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)																
	データサイエンスの数理	Mathematics for Data Science	磯崎泰樹	2	講義	○	○		2			本学学部科目「数理応用統計」又は「データサイエンスの数理」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)																
	代数学セミナー	Seminar on algebra	奥山裕介・朝田 衛	2	講義・演習	○	○		2																				
	幾何学セミナー	Seminar on geometry	井川 治・矢ヶ崎達彦	2	講義・演習	○	○		2						※														
	解析学セミナー	Seminar on analysis	峯 拓矢・武石拓也	2	講義・演習	○	○		2						※														
	確率論セミナー	Seminar on probability theory	磯崎泰樹	2	講義・演習	○	○		2						※														
英 語 系	Academic Writing	Academic Writing	a 某	1	講義	○	☆		2			2021年度開講せず				※													
			b 神澤克徳														2	応、材創、材制、物合、機能、バ対象											
			c 深田 智														2	電、情、機物、機設、建、デザ学、先ファ対象											
	書くための英文法総仕上げ	English Grammar for Writing	羽藤由美	1	講義	○	☆		2									※											
																			Presentation Strategies	Presentation Strategies	a サンドラ ヒーリ	1	講義	○	☆		2	2	応、材創、材制、物合、機能、バ対象
																					b 坪田 康								
	c 某	2	2021年度開講せず																										
	Technical English	Technical English		1	講義	○	☆		2	2			2021年度開講せず					※											
																			b (Wever, Steven)	2									
	Business Communication	Business Communication	(Wever, Steven)	2	講義	○	☆		2									※											
	English for International Conferences	English for International Conferences	深田 智	1	講義	○	☆		2									※											
	TOEIC受験集中対策	Intensive TOEIC Preparation		1	講義	○	☆		2				2	a クラス:730点以上の取得を目指すクラス、bクラス:630点以上の取得を目指すクラス。ただし、初回にクラス分けテストを実施して、a,bクラスの間で受講者数を調整する。				※											
b 坪田 康																													
c 林千恵子																			2	10月または11月の公開テストを受験する者が対象。			※						
Media English: Listening, Reading and Discussion	Media English: Listening, Reading and Discussion	羽藤由美	1	講義	○	☆		2				西暦奇数年開講				※													

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		選授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履
						バイオベース以外	バイオベース	1～2年次							
								春	秋	①	②				
英語系	Presentation English: Listening, Reading and Discussion	Presentation English: Listening, Reading and Discussion	竹井智子	1	講義	○	☆			2		西暦偶数年開講		※	※
	Academic Reading	Academic Reading	a 某	1	講義	○	☆			2		2021年度開講せず		※	※
			b 竹井智子					2						※	※
	Content and Language Integrated Learning I	Content and Language Integrated Learning I	竹井智子・羽藤由美	1	講義	○	☆			2		西暦奇数年:竹井 西暦偶数年:羽藤		※	※
	Content and Language Integrated Learning II	Content and Language Integrated Learning II	サンドラ ヒーリ	1	講義	○	☆			2				※	※
Content and Language Integrated Learning III	Content and Language Integrated Learning III	(Wever, Steven)	1	講義	○	☆			2				※	※	
高等教養セミナー系	高等教養セミナー1	Advanced Liberal Arts Seminar 1	林千恵子	1	講義	○	○			2		「高等教養セミナー16」既修得者は履修不可		※	※
	高等教養セミナー2	Advanced Liberal Arts Seminar 2	塩屋葉子	1	講義	○	○			2		「高等教養セミナー17」既修得者は履修不可		※	※
	高等教養セミナー3	Advanced Liberal Arts Seminar 3	秋富克哉	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー4	Advanced Liberal Arts Seminar 4	大谷芳夫	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー5	Advanced Liberal Arts Seminar 5	人見光太郎・入江信一郎	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー6	Advanced Liberal Arts Seminar 6	北村幸也	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー7	Advanced Liberal Arts Seminar 7	伊藤 徹	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー8	Advanced Liberal Arts Seminar 8	吉川順子	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー9	Advanced Liberal Arts Seminar 9	秋富克哉・入江信一郎	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー10	Advanced Liberal Arts Seminar 10	深田智・南 剛	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー11	Advanced Liberal Arts Seminar 11	澤田美恵子・伊藤翼斗	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー12	Advanced Liberal Arts Seminar 12	山本以和子・某	1	講義	○	○			2		2021年度開講せず		※	※
	高等教養セミナー13	Advanced Liberal Arts Seminar 13	伊藤 徹	1	講義	○	○			2				※	※
	高等教養セミナー14	Advanced Liberal Arts Seminar 14	某	1	講義	○	○			2		2021年度開講せず		※	※
	高等教養セミナー15	Advanced Liberal Arts Seminar 15	竹井智子	1	講義	○	○			2				※	※
高等教養講義	Advanced Liberal Arts Lecture	秋富克哉・伊藤 徹・伊藤翼斗・北村幸也・澤田美恵子・南 剛・吉川順子	1	講義	○	○			2				※	※	
人文系	比較文学特論	Comparative Literature, Advanced	某	2	講義	○	○			2		2021年度開講せず			※
	制作思想	Poiesis and Artistic Discourse	伊藤 徹	2	講義	○	○			2				※	※
	宗教文化論	The Study of Religious Culture	秋富克哉	2	講義	○	○			2				※	※
	京の伝統工芸ー知 美 技 (課題解決セミナー1)	Traditional Kyoto Art-Wisdom, Beauty and Technology(Problem-Solving Seminar I)	澤田美恵子・深田 智・伊藤翼斗	2	講義・演習	○	○			2		集中		※	
	テックリーダー演習I: 起業工学	Tech Leader Seminar I: Entrepreneur Engineering	副学長・(出川 通)・(富澤 治)・(石綿 宏)・(平木明敏)	2	講義・演習	○	○			2					
	テックリーダー演習II	Tech Leader Seminar II	(坂井裕紀)	1	演習	○	○			2		集中		※	
自然科学系	環境化学特論	Environmental Chemistry, Advanced	前田耕治・吉田裕美	2	講義	○	☆			2			応・材創・材制・物合・機能・バ	※	※
	生体行動科学特論	Science of Human Performance, Advanced	野村照夫・来田宣幸	2	講義	○	○		4					※	
	バイオメカニクス特論	Biomechanics, Advanced	芳田哲也・山下直之	2	講義	○	○			2				※	

授 業 科 目	英文授業科目名	ク ラ ス	担 当 教 員	単 位 数	授 業 形 態	履修区分		編 織 ・ フ ァ イ バ ー 工 学 コ ー ス	週授業時間数				備 考	教 職	I G P 対 応	合 格 再 履
						バ イ オ ベ ー ス 以 外	バ イ オ ベ ー ス		1～2年次							
									春	秋	①	②				
イ ン タ ー ン シ ッ プ 系	インターンシップ I	Internship I	専攻関係教員	1	演習	○	☆		2							
	インターンシップ II	Internship II	専攻関係教員	2	演習	○	☆		4							
	グローバルインターンシップ I	Global Internship I	研究科長	1	演習	○	☆		2							
	グローバルインターンシップ II	Global Internship II	研究科長	2	演習	○	☆		4							
	グローバルイノベーションプログラム I	Global Innovation Program I	SUSHI SUZUKI・多田羅景太	4	演習	○	☆		8				集中・履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。			※
	グローバルイノベーションプログラム II	Global Innovation Program II	SUSHI SUZUKI・多田羅景太・(LI ANDREW I KANG)	4	演習	○	☆		8				集中・履修定員有。「グローバルイノベーションプログラム I」履修者のみ履修可。			※
	dCEPセッション(M) I	dCEP session (M) I	dCEP関係教員	2	演習	○	☆		8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可			
	dCEPセッション(M) II	dCEP session (M) II	dCEP関係教員	2	演習	○	☆		8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可			
	dCEPセッション(M) III	dCEP session (M) III	dCEP関係教員	2	演習	○	☆		8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可			
dCEPセッション(M) IV	dCEP session (M) IV	dCEP関係教員	2	演習	○	☆		8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可				
K I T 大 学 院 科 目	デザインリサーチ論	Design Research	門 勇一・岡田栄造・水野大二郎・dCEP関係教員	2	講義・演習	○	○		4				デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目			
	プロトタイプング論	Theory and Practice of Prototyping	SUSHI SUZUKI	2	講義	○	○		2				デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目			
	産学協働プロジェクト I	Academic-Industrial Collaboration Project I	桑原教彰・大谷章夫・(崔 童殷)	1	演習	○	○		2				集中・履修定員有。			
	産学協働プロジェクト II	Academic-Industrial Collaboration Project II	桑原教彰・大谷章夫	2	演習	○	○		4				集中・履修定員有。「産学協働プロジェクト I」履修者のみ履修可。			
	国際協働プロジェクト	International Cooperation Project	高橋和生	1	実習	○	○		3				集中			※
	プロジェクト・マネジメント	Project Management	副学長	2	講義	○	○		2				国際科学技術コース科目授業は英語で行う			※
	IGP 知的財産権論	IGP Intellectual Property	国際センター長・(某)・(某)	2	講義	○	○		2				集中 国際科学技術コース科目 授業は英語で行う			※
	ICT活用産業創出論	ICT-based Industry Creation Strategies	国際センター長・(染原俊朗)・(田口貢士)・(水越達也)	2	講義	○	○		2				集中 国際科学技術コース科目 授業は英語で行う			※
	実践プロセスデザイン I	Practice Process Design I	飯塚高志・江頭 快・吉本昌広・小林和淑・島崎仁司・水野 修	2	講義・演習・実習	○	○		4				2021年度開講せず			
	実践プロセスデザイン II	Practice Process Design II	飯塚高志・江頭 快・吉本昌広・小林和淑	3	講義・演習・実習	○	○		6				2021年度開講せず 集中(インターンシップ含む)			
	人工知能(機械学習)応用論	Artificial Intelligence (Machine Learning) Applied Theory	(趙 強福)・(白 寅天)・(渡部有隆)・(富岡洋一)・(齋藤 寛)・(奥山祐市)	2	講義・演習	○	○		2							※
	IoTシステム構成論	IoT System Configuration Theory	川本康貴	2	講義・演習	○	○		2							※
	産業応用システム論 I (RFIDシステム)	Industrial application system theory I (RFID system)	(萬代俊治)	1	講義・演習	○	○		2							※
産業応用システム論 II (スマート・モビリティ)	Industrial application system theory II (Smart mobility)	(木内一也)	1	講義・演習	○	○		2							※	

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		繊維・ファイバー工学コース	1～2年次				備考	教職	IGP対応	合格再履
						バイオベース以外	バイオベース		春		秋					
									①	②	③	④				
産業応用システム論Ⅲ (システム製品開発概論)	Industrial application system theory Ⅲ (Introduction of system product development)	某	某	1	講義・演習	○	○					2				※
ビジネスエンジニアリング論	Study on Business Engineering	(某)	(某)	2	講義	○	○					2	集中			※
マテリアルズイノベーション論	Study on Materials Innovation	(某)	(某)	2	講義	○	○					2	集中			※
ジェロントロジー入門 (超高齢社会のユニバーサルデザイン)	Gerontology	某	某	2	講義	○	○				2		2021年度開講せず 集中			
繊維系合同演習	Fiber/Textile Joint Research		青木隆史・鋤柄佐千子	2	演習	○	○	●			4		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目履修制限あり。 1年次			
繊維系資格概論	Qualification for Textile Business		鋤柄佐千子・(松永伸洋)・(安部正毅)・(松原富夫)・(嶋田幸二郎)・(相馬成男)・(西中久雄)	2	講義	○	○	☆			2		繊維・ファイバー工学コース基幹科目			
アカデミックインターンシップ (国内) I	Academic Internship I		先端ファイブ科学専攻担当教員・バイオベースマテリアル学専攻担当教員	1	実習	○	○	☆			2	2	集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目履修制限あり。 1年次、春又は秋学期開講。自己負担がある可能性有り			
アカデミックインターンシップ (国内) II	Academic Internship II		先端ファイブ科学専攻担当教員・バイオベースマテリアル学専攻担当教員	1	実習	○	○	☆			2	2	集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目履修制限あり。 1年次、春又は秋学期開講。自己負担がある可能性有り			
アカデミックインターンシップ (海外)	Academic Internship (Overseas)		安永秀計・佐藤哲也	2	実習	○	○	☆			3	3	集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目履修制限あり。 春又は秋学期開講。自己負担がある可能性有り			
繊維・ファイバー工学特論 I	Topics in Fiber/Textile Technology I		佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	2	講義	○	○	☆				2	集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目「衣服の革新的製造と既製品産業における技術的应用」と同時開講 (同科目の既修得者は履修不可)			
繊維・ファイバー工学特論 II	Topics in Fiber/Textile Technology II		佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	○	○	☆			1	1	集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目 春又は秋学期開講			
繊維・ファイバー工学特論 III	Topics in Fiber/Textile Technology III		佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	○	○	☆			1	1	集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目 春又は秋学期開講			
繊維・ファイバー工学特論 IV	Topics in Fiber/Textile Technology IV		佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	○	○	☆			1	1	集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目 春又は秋学期開講			
繊維基礎科学 (英語版e-Learning科目)	Textile Fundamentals		奥林里子	2	講義	○	○	☆				2	繊維・ファイバー工学コース基幹科目履修制限あり。			

K I T 大学院科目

注1. 履修区分欄の☆印は選択必修科目 (バイオベースマテリアル学専攻は2単位以上必修)、○は選択科目を示す。

注2. 繊維・ファイバー工学コース欄の☆印は、繊維・ファイバー工学コースの「コース基幹科目」の選択必修科目 (コース履修者は4単位以上必修)

(3) 材料創製化学専攻

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 合格再履欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春	秋	①	②				
光電子材料化学	Materials Chemistry for Photo-Electronics	坂井 互・木梨憲司	2	講義	○	2					※	※	※
有機・高分子光物性工学	Optical Engineering of Organic Polymers	山雄健史・町田真二郎	2	講義	○	4					※	※	※
機能高分子材料	Functional Polymeric Materials	鈴木智幸	2	講義	○		2				※	※	※
分子機能設計	Molecular Design for Functional Materials	浅岡定幸	2	講義	○	4					※	※	※
素反応速度論	Kinetics and Dynamics of Elementary Reactions	一ノ瀬暢之	2	講義	○	2					※	※	※
応用固体化学	Applied Solid State Chemistry	塩野剛司	2	講義	○	2					※	※	※
ガラス・アモルファス材料科学	Science and Technology of Glasses and Amorphous Materials	角野広平・若杉 隆	2	講義	○	2					※	※	※
無機材料物性学	Physical Properties of Inorganic Materials	塩見治久・湯村尚史	2	講義	○		2				※	※	※
ナノ材料物性	Properties of Nanomaterials	櫻井伸一	2	講義	○			4			※	※	※
応用バイオ繊維科学	Applied Bio-related Fiber Science	青木隆史	2	講義	○		4				※	※	
材料創製化学セミナーⅠ	Seminar on Innovative Materials I	専攻長・(某)	1	講義	○	1			集中				
材料創製化学セミナーⅡ	Seminar on Innovative Materials II	専攻長・(鷹木 洋)	1	講義	○	1			集中				
材料創製化学セミナーⅢ	Seminar on Innovative Materials III	専攻長・(某)	1	講義	○		1		集中				
材料創製化学インターンシップⅠ	Internship for Innovative Materials I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)				
材料創製化学インターンシップⅡ	Internship for Innovative Materials II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者で、材料創製化学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)				
材料創製化学特別実験及び演習Ⅰ	Seminar and Laboratory Work in Innovative Materials I	専攻関係教員	2	実験	●	6			1年次	※			
材料創製化学特別実験及び演習Ⅱ	Seminar and Laboratory Work in Innovative Materials II	専攻関係教員	2	実験	●		6		1年次	※			
材料創製化学特別実験及び演習Ⅲ	Seminar and Laboratory Work in Innovative Materials III	専攻関係教員	2	実験	●	6			2年次	※			
材料創製化学特別実験及び演習Ⅳ	Seminar and Laboratory Work in Innovative Materials IV	専攻関係教員	2	実験	●		6		2年次	※			
特別研究	Special Research	専攻関係教員									※		

(5) 材料制御化学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 合格再履修欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春	秋	①	②				
熱・統計物理学	Thermal Physics and Statistical Physics	八尾晴彦	2	講義	○		2				※	※	※
階層構造形成論	Hierarchical Structure Formation	藤原 進・橋本雅人・水口朋子	2	講義	○		4				※	※	※
繊維システム論	Textile Processes, Advanced	田中克史・高崎 緑	2	講義	○	2					※	※	※
高分子物性論	Molecular Engineering of Polymers	則末智久・中西英行	2	講義	○	2					※	※	※
高分子構造・力学	Polymer Structure and Mechanics	浦山健治・西川幸宏	2	講義	○	2					※	※	※
原子分子物理化学	Atomic and Molecular Physical Chemistry	高廣克己	2	講義	○		2				※	※	※
無機材料計算化学	Computational Chemistry of Inorganic Materials	竹内信行	2	講義	○			4			※	※	※
無機構造材料科学	Science of Inorganic Structural Materials	ベツツオツティ,G	2	講義	○		2				※	※	※
ナノ材料物性	Properties of Nanomaterials	櫻井伸一	2	講義	○			4			※	※	※
バイオベースポリマー	Bio-based Polymers	田中知成	2	講義	○	4					※	※	
材料制御化学セミナーⅠ	Seminar on Material's Properties Control I	専攻長・(某)	1	講義	○	1			集中				
材料制御化学セミナーⅡ	Seminar on Material's Properties Control II	専攻長・(大原洋一)・(齋藤 健)・(曾我部啓介)・(辻良太郎)・(野口英雄)・(和田一仁)・(安藤 寛)・(上田正博)	1	講義	○	1			集中				
材料制御化学セミナーⅢ	Seminar on Material's Properties Control III	専攻長・(某)	1	講義	○		1		集中				
材料制御化学インターンシップⅠ	Internship for Material's Properties Control I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)				
材料制御化学インターンシップⅡ	Internship for Material's Properties Control II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者で、材料制御化学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)				
材料制御化学特別実験及び演習Ⅰ	Seminar and Laboratory Work in Material's Properties Control I	専攻関係教員	2	実験	●	6			1年次	※			
材料制御化学特別実験及び演習Ⅱ	Seminar and Laboratory Work in Material's Properties Control II	専攻関係教員	2	実験	●		6		1年次	※			
材料制御化学特別実験及び演習Ⅲ	Seminar and Laboratory Work in Material's Properties Control III	専攻関係教員	2	実験	●	6			2年次	※			
材料制御化学特別実験及び演習Ⅳ	Seminar and Laboratory Work in Material's Properties Control IV	専攻関係教員	2	実験	●		6		2年次	※			
特別研究	Special Research	専攻関係教員									※		

(8) 機能物質化学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 合格再履修欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春	秋	①	②				
分子構造化学	Molecular Structural Chemistry	田嶋邦彦・金折賢二	2	講義	○		2				※	※	※
分離分析化学	Analytical Chemistry	前田耕治・吉田裕美	2	講義	○	2					※	※	※
生体反応機構論	Mechanisms of Biological Reactions	和久友則	2	講義	○		4				※	※	※
天然高分子材料	Soft Biomaterials	池田裕子	2	講義	○	2					※	※	※
生体制御分子設計	Molecular Design for Bioregulation	小堀哲生	2	講義	○		2				※	※	※
高分子生化学機能	Biochemical Functions of Polymers	亀井加恵子	2	講義	○	2					※	※	※
化学工学特論	Chemical Engineering, Advanced	堀内淳一・熊田陽一	2	講義	○	2					※	※	※
タンパク質機能構造	Functional Structures of Proteins	北所健悟	2	講義	○			4			※	※	※
バイオベースポリマー	Bio-based Polymers	田中知成	2	講義	○	4					※	※	
応用バイオ繊維科学	Applied Bio-related Fiber Science	青木隆史	2	講義	○			4			※	※	
機能物質化学セミナーⅠ	Seminar on Functional Chemistry I	専攻長・(某)	1	講義	○	1			集中				
機能物質化学セミナーⅡ	Seminar on Functional Chemistry II	専攻長・(京 基樹)	1	講義	○	1			集中				
機能物質化学セミナーⅢ	Seminar on Functional Chemistry III	専攻長・(山岡哲二)	1	講義	○			1	集中				
機能物質化学インターンシップⅠ	Internship for Functional Chemistry I	専攻関係教員	6	演習	○	-		-	社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)				
機能物質化学インターンシップⅡ	Internship for Functional Chemistry II	専攻関係教員	6	演習	○	-		-	社会人特別入試で合格し入学した者で、機能物質化学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)				
機能物質化学特別実験及び演習Ⅰ	Seminar and Laboratory Work in Functional Chemistry I	専攻関係教員	2	実験	●	6			1年次	※			
機能物質化学特別実験及び演習Ⅱ	Seminar and Laboratory Work in Functional Chemistry II	専攻関係教員	2	実験	●			6	1年次	※			
機能物質化学特別実験及び演習Ⅲ	Seminar and Laboratory Work in Functional Chemistry III	専攻関係教員	2	実験	●	6			2年次	※			
機能物質化学特別実験及び演習Ⅳ	Seminar and Laboratory Work in Functional Chemistry IV	専攻関係教員	2	実験	●			6	2年次	※			
特別研究	Special Research	専攻関係教員									※		

(11) 情報工学専攻

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を () で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 合格再履欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
6. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履		
					インタラクショナルデザイン学コース以外	インタラクショナルデザイン学コース	1～2年次		①	②					③	④
							春	秋								
IoTプロセッシング特論	IoT and Signal Processing, Advanced	福澤理行	2	講義	☆	○	4						※	※	※	
形式言語理論	Formal Language Theory	辻野嘉宏	2	講義	☆	○	4						※	※	※	
コンピュータシステム特論	Computer Systems, Advanced	平田博章	2	講義	☆	○	4							※	※	
機械学習特論	Machine Learning, Advanced	荒木雅弘	1	講義	☆	☆	2						※	※	※	
形式的意味論	Formal Semantics	辻野嘉宏	1	講義	☆	○	2						※	※	※	
システム設計特論	System Design, Advanced	飯間 等・森 禎弘	2	講義	○	○	4						※	※	※	
情報伝送システム論	Data Transmission Systems	稲葉宏幸・梅原大祐	2	講義	○	○	4						※	※	※	
データサイエンス特論	Data Science, Advanced	村川賀彦・水谷治央	1	講義	○	○	2							※	※	
認知科学特論	Cognitive Science, Advanced	西崎友規子	1	講義	○	○	2							※	※	
情報ネットワーク特論	Data Networks, Advanced	梅原大祐・樹田秀夫・永井孝幸	2	講義	☆	○			4				※	※	※	
ダイナミカルシステム論	Dynamical Systems Theory	飯間 等・森 禎弘	2	講義	☆	○			4				※	※	※	
人間情報環境特論	Human Centred Information Processing Environments	澁谷 雄・(園山隆輔)	2	講義	○	☆			4					※	※	
ソフトウェアメトリクス論	Software Metrics	水野 修	1	講義	○	☆			2					※	※	
ソフトウェアマイニング分析論	Software Mining and Analysis	水野 修	1	講義	○	○			2					※	※	
マルチメディア効果論	Multimedia Effects	寶珍輝尚・野宮浩揮	1	講義	○	☆			2					※	※	
ビッグデータ管理論	Big Data Management	寶珍輝尚	1	講義	○	○			2					※	※	
オペレーティングシステム特論	Operating Systems, Advanced	布目 淳	2	講義	○	○					4			※	※	
コンピュータビジョン	Computer Vision	杜 偉薇・福澤理行	2	講義	○	○					4			※	※	
認知的インタラクショナルデザイン学	Cognitive Interaction Design	岡 夏樹・澁谷 雄・西崎友規子・梶村昇吾・(小谷賢太郎)・(小森政嗣)・(小俣貴宣)・(某)・(某)	1	講義	○	☆	1					集中			※	
ソーシャルインタラクショナルデザイン	Social Interaction Design	澁谷 雄・西村雅信・池側隆之・山本景子・CHEN Lu	4	講義・演習	○	☆	4					演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		※		
フィジカルインタラクショナルデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・榎 勝彦・PARK JAE HYUN・水野 修・荒木雅弘・野宮浩揮・田中一品	4	講義・演習	○	☆			8			演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		※		
グローバルイノベーションプログラム I	Global Innovation Program I	SUSHI SUZUKI・多田羅景太	4	演習	○	☆			8			集中・履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。		※		
グローバルイノベーションプログラム II	Global Innovation Program II	SUSHI SUZUKI・多田羅景太・(LI ANDREW I KANG)	4	演習	○	☆	8					集中・履修定員有。「グローバルイノベーションプログラム I」の履修者のみ履修可。		※		
情報工学インターンシップ I	Internship for Information Science I	専攻関係教員	6	演習	○	○	-	-				社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)				
情報工学インターンシップ II	Internship for Information Science II	専攻関係教員	6	演習	○	○	-	-				社会人特別入試で合格し入学した者で、情報工学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)				

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履修区分		週授業時間数				備 考	教 職	IGP 対 応	合 格 再 履
					インタ ラクシ ョンデ ザイン 学 コース 以外	インタ ラクシ ョンデ ザイン 学 コース	1～2年次							
							春		秋					
①	②	③	④											
情報工学特別実験及び演習Ⅰ	Special Seminar on Information Science Ⅰ	専攻関係教員	3	実験	●	●	9				1年次	※		
情報工学特別実験及び演習Ⅱ	Special Seminar on Information Science Ⅱ	専攻関係教員	3	実験	●	●		9			1年次	※		
情報工学特別実験及び演習Ⅲ	Special Seminar on Information Science Ⅲ	専攻関係教員	3	実験	●	●	9				2年次	※		
情報工学特別実験及び演習Ⅳ	Special Seminar on Information Science Ⅳ	専攻関係教員	3	実験	●	●		9			2年次	※		
特別課題実験及び演習Ⅰ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅰ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)				1年次			
特別課題実験及び演習Ⅱ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅱ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●		(9)			1年次			
特別課題実験及び演習Ⅲ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅲ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)				2年次			
特別課題実験及び演習Ⅳ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅳ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●		(9)			2年次			
特別研究	Special Research	専攻関係教員										※		

☆は、選択必修科目（インタラクシオンデザイン学コース以外は7科目12単位中8単位以上必修；インタラクシオンデザイン学コースは9科目22単位中8単位以上必修）

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建築士		週授業時間数				備 考	教 職	IG P 対 応	合 格 再 履	
						インター ンシップ	関連 科目	1～2年次								
								春		秋						
								①	②	③	④					
建築構造設計マネジメント	Design Management of Building Structures	金尾伊織・満田衛資・村本 真・小島紘太郎	2	講義	○	○		4								※
都市・建築空間研究A	Architecture and Urban Spatial Research A	専攻関係教員	3	演習	●K	○		6			集中					※
都市・建築空間研究B	Architecture and Urban Spatial Research B	専攻関係教員	3	演習	●K	○			6		集中					※
建築設計実務実習Ⅰ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅰ	専攻関係教員	3	実習	●K	●		5	5		集中・学外インターンシップ・1年次					
建築設計実務実習Ⅱ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅱ	専攻関係教員	3	実習	●K	●		5	5		集中・学外インターンシップ・2年次					
建築設計実務実習Ⅲ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅲ	専攻関係教員	3	実習	○	○		5	5		集中・学外インターンシップ					
国際設計プロジェクトⅠ	International Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○		8			集中					※
国際設計プロジェクトⅡ	International Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○		8			集中					※
国際設計プロジェクトⅢ	International Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○			8		集中					※
国際設計プロジェクトⅣ	International Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○			8		集中					※
建築設計学特別講義Ⅰ	Special Lecture-Ⅰ	専攻関係教員	1	講義	○	○		2			集中					※
建築設計学特別講義Ⅱ	Special Lecture-Ⅱ	専攻関係教員	1	講義	○	○		2			集中					※
建築設計学特別講義Ⅲ	Special Lecture-Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○	○			2		集中					※
建築設計学特別講義Ⅳ	Special Lecture-Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○	○			2		集中					※
建築設計学インターンシップⅠ	Internship for Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	○	○		—	—		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可・1年次(通年)					
建築設計学インターンシップⅡ	Internship for Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	○		—	—		社会人特別入試で合格し入学した者で、建築設計学インターンシップ履修者のみ履修可・2年次(通年)					
特別制作	Studio Theses	専攻関係教員・(Viray,Erwin)														※
都市史	Urban History	登谷伸宏・大田省一・岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	○			4								※ ※ ※
建築都市再生学特別講義Ⅰ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅰ	専攻関係教員・(田原幸夫)	1	講義	○	○		2			集中					
建築都市再生学特別講義Ⅱ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅱ	専攻関係教員・(田原幸夫)	1	講義	○	○		2			集中					
建築都市再生学特別講義Ⅲ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅲ	専攻関係教員・(田原幸夫)	1	講義	○	○			2		集中					
建築都市再生学特別講義Ⅳ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅳ	専攻関係教員・(田原幸夫)	1	講義	○	○			2		集中					
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅰ	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○		8			集中					
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅱ	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○			8		集中					
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅲ	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○			8		集中					
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅳ	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○			8		集中					
地域設計プロジェクトⅠ	Regional Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8			集中					
地域設計プロジェクトⅡ	Regional Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8			集中					
地域設計プロジェクトⅢ	Regional Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8		集中					
地域設計プロジェクトⅣ	Regional Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8		集中					
都市・建築再生学演習Ⅰ	Practices of Architecture and Urban Regeneration Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	●T			6	6		1年次					※
都市・建築再生学演習Ⅱ	Practices of Architecture and Urban Regeneration Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	●T			6	6		2年次					※
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員														※

1. 建築士欄の●は必修科目、○は選択科目を示す。

2. ●Kは特定課題型の必修科目、●Tは論文型の必修科目を表す。

3. 建築士のインターンシップ科目とインターンシップ関連科目から所定の単位を修得すれば、一級建築士の免許登録要件のうちの実務経験1年または2年と認定される。

4. 教育職員免許状の高等学校教諭(工業)一種免許状を取得した者又は取得有資格者で、高等学校教諭(工業)の専修免許状を取得しようとする者は、「教職」欄に「※」を付した科目を24単位以上修得し、修士の学位を得ることにより取得することが出来ます。

(15) デザイン学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 合格再履欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春	秋	①	②				
アドバンストデザインプロジェクト I	Advanced Design Project I	専攻関係教員	2	演習	☆	2	2			1年次		※	
アドバンストデザインプロジェクト II	Advanced Design Project II	専攻関係教員	2	演習	☆	2	2			2年次		※	
フィジカルインタラクションデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・楠 勝彦・PARK JAE HYUN・水野 修・荒木雅弘・野宮浩揮・田中一品	4	講義・演習	☆		8			演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		※	
ソーシャルインタラクションデザイン	Social Interaction Design	澁谷 雄・西村雅信・池側隆之・山本景子・CHEN Lu	4	講義・演習	☆	4				演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		※	
グローバルイノベーションプログラム I	Global Innovation Program I	SUSHI SUZUKI・多田羅景太	4	演習	☆		8			集中・履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。		※	
グローバルイノベーションプログラム II	Global Innovation Program II	SUSHI SUZUKI・多田羅景太・(LI ANDREW I KANG)	4	演習	☆		8			集中・履修定員有。「グローバルイノベーションプログラム I」履修者のみ履修可。		※	
dCEPセッション (M) I	dCEP session (M) I	dCEP関係教員	2	演習	☆	8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可			
dCEPセッション (M) II	dCEP session (M) II	dCEP関係教員	2	演習	☆	8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可			
dCEPセッション (M) III	dCEP session (M) III	dCEP関係教員	2	演習	☆	8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可			
dCEPセッション (M) IV	dCEP session (M) IV	dCEP関係教員	2	演習	☆	8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可			
プロジェクトデザイン A	Design for Process and Projects	岡田栄造・専攻関係教員	4	演習	☆A	16				集中		※	
プロジェクトデザイン B	Project Design	水野大二郎・専攻関係教員	4	演習	☆A		16			集中		※	
キュレーション実地演習	Curatorial Research and Fieldwork	永井隆則・井戸美里・平芳幸浩	4	演習	☆B	8						※	
キュレーション資料演習	Material and Data Management for Curation	三木順子・井戸美里・平芳幸浩	4	演習	☆B		8					※	
キュレーション講読演習	Reading in Curatorial Studies	永井隆則・三木順子・平芳幸浩	4	演習	☆		8					※	
キュレーションとメディア	Curation and Media	平芳幸浩・永井隆則	2	講義	○	4						※	
展示と空間	Exhibition and Space	永井隆則・三木順子・井戸美里	2	講義	○		4					※	
キュレーション実務演習	Internship for Creative Curation Practice	専攻関係教員	2	実習	○	3	3			集中・学外インターンシップ(専攻長が認めた者のみ履修可)			
伝統文化とデザイン	Japanese Traditional Culture and Design	中野仁人・井戸美里	2	講義	○	4						※	
映像と感性	Image and Imagination	池側隆之・三木順子	2	講義	○		4					※	

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春		秋					
①	②	③	④										
ヒューマンファクターとテクノロジー	Human Facotors and Technology	小山恵美・北口紗織	2	講義	○	4						※	
デザインとマネジメント	Design and Management	木谷庸二	2	講義	○	4						※	
テクノロジーと文化	Technology and Culture	佐藤哲也・津田和俊・三村 充	2	講義	○			4				※	
ビジネスと社会	Business and Society	勝本雅和	2	講義	○		4					※	
人と場	People and Places	仲 隆介・野口企由・松本裕司・多田羅景太	2	講義	○	4						※	
デザインと技術	Design and Technology	松本裕司・多田羅景太・三村 充	2	講義	○			4				※	
市場とイノベーション	Design for Innovation	PARK JAE HYUN	2	講義	○	4						※	
企業経営管理と社会	Business Management and Society	(米田庄太郎)	2	講義	○	2							
デザイン学特別演習 A	Professional Workshop Series in Design A	専攻関係教員	1	演習	○	2						※	
デザイン学特別演習 B	Professional Workshop Series in Design B	専攻関係教員	2	演習	○			4				※	
デザイン学特別講義 A	Professional Lecture Series in Design A	専攻関係教員	1	講義	○	1							
デザイン学特別講義 B	Professional Lecture Series in Design B	専攻関係教員	1	講義	○			1					
デザイン学実務実習	Internship for Design Practice	専攻関係教員	2	実習	○	3		3					
デザイン学インターンシップ I	Internship for Design I	専攻関係教員	6	演習	○	-		-					
デザイン学インターンシップ II	Internship for Design II	専攻関係教員	6	演習	○	-		-					
特別研究（特定課題制作又は論文）	Master's Project	専攻関係教員										※	

☆は選択必修科目（特定課題型は☆Aを一つ含め16単位以上、論文型は☆Aあるいは☆Bのいずれか一つを含め16単位以上）

(16) 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. チェンマイ大学で開設される科目で、週授業時間数を()で囲んであるものは、春学期または秋学期のいずれかに開講されることを示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
チェンマイ大学の第1セメスター(8月～1月)を秋学期の欄に記載し、第2セメスター(2月～7月)を春学期の欄に記載している。
5. 教科課程表中の「KIT」は京都工芸繊維大学、「CMU」はチェンマイ大学を示す。
6. 授業科目欄の「京」は京都工芸繊維大学の開設科目、「チ」はチェンマイ大学の開設科目、「京チ」は京都工芸繊維大学・チェンマイ大学の共同開設科目を示す。
7. 合格再履欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
8. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建 築 士		週 授 業 時 間 数				備 考	教 職	学 部	合 格 再 履		
						イン ター ン シ ップ	開 連 科 目	1～2年次		①	②					③	④
								春	秋								
KIT+CMU履修推奨科目																	
建築設計実習	京 Architecture Design Studio	専攻関係教員・ (六鹿正治)・(奥谷繁礼)	6	実習	○	○					24*					集中・1年次 *タイ・CMUとの JDP(ジョイント ディグリープログ ラム)関連科目の ため 1単位あたり30時 間とする。	
都市設計実習	京 Urban Design Studio	専攻関係教員・ (根本哲夫)・(宮城俊作)	6	実習	●	○					24*					集中・1年次 *タイ・CMUとの JDP(ジョイント ディグリープログ ラム)関連科目の ため 1単位あたり30時 間とする。	
Advanced Graduate Design Studio in Architecture	チ Advanced Graduate Design Studio in Architecture	Ekkachai Mahaek	6	実習	●						12*					*タイ・CMUとの JDP(ジョイント ディグリープログ ラム)関連科目の ため 1単位あたり30時 間とする。	
国際共同設計実習A	京チ International Joint Project of Architectural Design A	(木村博昭)・角田暁治・ 高木真人・大田省一・ Ekkachai Mahaek・ Nawit Ongsavangchai・ Apichoke Lekagul・ Pandin Ounchanum	2	実習	●	○					8*					集中 *タイ・CMUとの JDP(ジョイント ディグリープログ ラム)関連科目の ため 1単位あたり30時 間とする。	
国際共同設計実習B	京チ International Joint Project of Architectural Design B	(木村博昭)・角田暁治・ 高木真人・大田省一・ Ekkachai Mahaek・ Nawit Ongsavangchai・ Apichoke Lekagul・ Pandin Ounchanum	2	実習	●	○					8*					集中 *タイ・CMUとの JDP(ジョイント ディグリープログ ラム)関連科目の ため 1単位あたり30時 間とする。	
建築デザイン	京 Architectural Design	長坂 大・松隈 洋・ 中村 潔・木下昌大	2	講義	☆K	○					4					※ ※	
都市デザイン	京 Urban Design	大田省一・赤松加寿江・ 笠原一人	2	講義	☆K	○					4					※ ※	
安心安全デザイン技術	京 Design Technology of Safety and Security	阪田弘一・高木真人	2	講義・ 演習	☆K	○					4						
国際設計プロジェクトⅠ	京 International Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員・ (Viray,Erwin)	2	演習	○	○					8					集中	
国際設計プロジェクトⅡ	京 International Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員・ (Viray,Erwin)	2	演習	○	○					8					集中	
地域設計プロジェクトⅠ	京 Regional Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	2	演習	○	○					8					集中	
地域設計プロジェクトⅡ	京 Regional Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	2	演習	○	○					8					集中	
建築設計学特別講義Ⅰ	京 Special Lecture-Ⅰ	専攻関係教員	1	講義	☆K	○					2					集中	
建築設計学特別講義Ⅱ	京 Special Lecture-Ⅱ	専攻関係教員	1	講義	☆K	○					2					集中	
Development and Management of Local Wisdom and Global Technology in Architecture	チ Development and Management of Local Wisdom and Global Technology in Architecture	Ekkachai Mahaek	3	講義	☆C						3						
Inquiry for Advanced Architectural Design	チ Inquiry for Advanced Architectural Design	Apichoke Lekagul	3	講義	☆C						3						
Urban Architecture	チ Urban Architecture	Nawit Ongsavangchai	3	講義	☆C						(3)	(3)					

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	建築士		週授業時間数				備考	教職	学部	合格再履	
						イン ター ン シ ップ	関連 科目	1～2年次								
								春	秋	①	②					③
修士論文・特定の課題またはそれらの指導に関する科目																
都市・建築再生学演習Ⅰ	Practices of Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	6	演習	●	T			6	6	1年次					
都市・建築再生学演習Ⅱ	Practices of Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	6	演習	●	T			6	6	2年次					
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員														
Thesis	Thesis	Ekkachai Mahaek・ Nawit Ongsawangchai・ Apichoke Lekagul・ Pandin Ounchanum	12													
都市・建築空間研究A	Architecture and Urban Spatial Research A	専攻関係教員	3	演習	●	K	○		6		集中					
都市・建築空間研究B	Architecture and Urban Spatial Research B	専攻関係教員	3	演習	●	K	○			6	集中					
特別制作	Studio Theses	専攻関係教員・ (Viray,Erwin)														
Independent Study	Independent Study	Ekkachai Mahaek・ Nawit Ongsawangchai・ Pandin Ounchanum・ Rattapong Angkasith・ Burin Tharavichitkun・ Rawiwan Oranratmanee・ Chaowalid Saicharoent・ Sant Suwatcharapinun・ Karuna Raksawin	6													
K I T 開設科目																
建築史	Architectural History	西田雅嗣・松隈 洋・ 清水重敏・登谷伸宏	2	講義	○				4						※	※
都市史	Urban History	登谷伸宏・大田省一・ 岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	○				4						※	※
建築力学・構造特論	Structural Mechanics and Design, Advanced	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義	○				4							
建築環境・設備論	Building Environment and Equipments	(岡田康郎)	2	講義	○				4							
住環境設計マネジメント	Design Management of Dwelling Environment	阪田弘一・中山利恵・ 木下昌大	2	講義	○		○	4								
都市・地域設計マネジメント	Design Management of Urban and District Environment	角田暁治・岩本 馨・ 三宅拓也	2	講義	○		○	4								
建築構造設計マネジメント	Design Management of Building Structures	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義	○		○	4								
建築保存再生技術	Design Technology of Reinforcement and Renovation	清水重敏・登谷伸宏・ 金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・松田剛佐・ MARTINEZ,Alejandro	2	講義・ 演習	○		○	4								
建築構造設計技術	Design Technology of Building Structures	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義・ 演習	○		○	4								
建築設備設計技術	Design Technology of Building Equipments	(岡田康郎)	2	講義・ 演習	○		○	4								
建築設計学特別講義Ⅲ	Special Lecture-Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○		○			2	集中					
建築設計学特別講義Ⅳ	Special Lecture-Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○		○				2	集中				
建築都市再生学特別講義Ⅰ	Design for Living Heritage: Special Lecture I	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○		○	2			集中					
建築都市再生学特別講義Ⅱ	Design for Living Heritage: Special Lecture II	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○		○		2		集中					
建築都市再生学特別講義Ⅲ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅲ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○		○			2	集中					
建築都市再生学特別講義Ⅳ	Design for Living Heritage: Special Lecture IV	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○		○				2	集中				
国際設計プロジェクトⅢ	International Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員・ (Viray,Erwin)	2	演習	○		○			8	集中					
国際設計プロジェクトⅣ	International Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員・ (Viray,Erwin)	2	演習	○		○				8	集中				
地域設計プロジェクトⅢ	Regional Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○		○			8	集中					
地域設計プロジェクトⅣ	Regional Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○		○				8	集中				

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建築士		週授業時間数				備 考	教 職	学 部	合 格 再 履
						イン ターン シ ョ ッ プ	開 連 科 目	1～2年次							
								春		秋					
								①	②	③	④				
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	Design for Living Heritage: Project Work I	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○		8				集中			
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	Design for Living Heritage: Project Work II	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○			8			集中			
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	Design for Living Heritage: Project Work III	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○				8		集中			
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	Design for Living Heritage: Project Work IV	専攻関係教員・(田原幸夫)	2	演習	○	○					8	集中			
建築設計実務実習Ⅰ	Internship for Architectural Design Practice- I	専攻関係教員	3	実習	○	○		5		5		集中・学外インターンシップ・1年次			
建築設計実務実習Ⅱ	Internship for Architectural Design Practice- II	専攻関係教員	3	実習	○	○		5		5		集中・学外インターンシップ・2年次			
建築設計実務実習Ⅲ	Internship for Architectural Design Practice-III	専攻関係教員	3	実習	○	○		5		5		集中・学外インターンシップ			
CMU開設科目															
Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design	Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design	Apichoke Lekagul	3	講義	○			(3)		(3)					
Advanced Specific Architectural Knowledge	Advanced Specific Architectural Knowledge	Tanut Waroonkun	3	講義	○			(3)		(3)					
Graduate Design Studio in Architecture I	Graduate Design Studio in Architecture I	Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun	6	実習	○					12		*タイ・CMU との JDP(ジョイントディグリープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時間とする。			
Graduate Design Studio in Architecture II	Graduate Design Studio in Architecture II	Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun・Karuna Raksawin	6	実習	○					12		*タイ・CMU との JDP(ジョイントディグリープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時間とする。			
Research for Architectural Design	Research for Architectural Design	Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun・Karuna Raksawin	3	実習	○			(6)		(6)		*タイ・CMU との JDP(ジョイントディグリープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時間とする。			
Quantitative Research Methods in Architecture	Quantitative Research Methods in Architecture	Apichoke Lekagul	3	講義	○			(3)		(3)					
Qualitative Research Methods in Architecture	Qualitative Research Methods in Architecture	Apichoke Lekagul	3	講義	○			(3)		(3)					
Architectural Technology and Sustainable Environment	Architectural Technology and Sustainable Environment	Ekkachai Mahaek	3	講義	○			3							
Specific Research in Architecture I	Specific Research in Architecture I	Apichoke Lekagul・Tanut Waroonkun	3	実習	○			(6)		(6)		*タイ・CMU との JDP(ジョイントディグリープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時間とする。			
Specific Research in Architecture II	Specific Research in Architecture II	Apichoke Lekagul・Tanut Waroonkun	3	実習	○			(6)		(6)		*タイ・CMU との JDP(ジョイントディグリープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時間とする。			
Critical Theories of Architecture	Critical Theories of Architecture	Burin Tharavichitkun・Sant Suwacharapinun	3	講義	○			(3)		(3)					
Critical Practices of Architecture	Critical Practices of Architecture	Burin Tharavichitkun・Sant Suwacharapinun	3	講義	○			(3)		(3)					
Theory of Architecture in Asia	Theory of Architecture in Asia	Nawit Ongsavangchai	3	実習	○			(6)		(6)		*タイ・CMU との JDP(ジョイントディグリープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時間とする。			
Selected Topics in Architectural History and Theory	Selected Topics in Architectural History and Theory	Burin Tharavichitkun・Sant Suwacharapinun	3	講義	○			(3)		(3)					
Properties and Behaviors of Architectural Materials	Properties and Behaviors of Architectural Materials	Tanut Waroonkun	3	講義	○			(3)		(3)					
Building Technology	Building Technology	Ekkachai Mahaek	3	講義	○			(3)		(3)					

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建築士		週授業時間数				備 考	教 職	学 部	合 格 再 履
						イン ター ン シ ップ	関 連 科 目	1～2年次							
								春		秋					
①	②	③	④												
Architectural Management	Architectural Management	Tanut Waroonkun	3	講義	○			(3)	(3)						
Advanced Professional Practices	Advanced Professional Practices	Ekkachai Mahaek・ Apichoke Lekagul・ Nawit Ongsawangchai	3	講義	○			(3)	(3)						
Theory and Philosophy in Vernacular Architecture	Theory and Philosophy in Vernacular Architecture	Pandin Ounchanum・ Rawiwan Oranratmanee・ Chaowalid Saicharoent	3	講義	○			(3)	(3)						
Research Approaches in Vernacular Architecture	Research Approaches in Vernacular Architecture	Pandin Ounchanum・ Rawiwan Oranratmanee・ Chaowalid Saicharoent	3	講義	○			(3)	(3)						
Dynamics of Vernacular Architecture	Dynamics of Vernacular Architecture	Pandin Ounchanum・ Rawiwan Oranratmanee・ Chaowalid Saicharoent	3	講義	○			(3)	(3)						
Urban and Community Planning	Urban and Community Planning	Nawit Ongsawangchai	3	講義	○			(3)	(3)						
Principles and Practices in Urban Design	Principles and Practices in Urban Design	Nawit Ongsawangchai・ Karuna Raksawin	3	講義	○			(3)	(3)						
Environmental Perception and Assessment	Environmental Perception and Assessment	Apichoke Lekagul・ Titaya Sararit	3	講義	○			(3)	(3)						
Selected Topics in Environment and Behavior	Selected Topics in Environment and Behavior	Apichoke Lekagul	3	講義	○			(3)	(3)						
Special Problem	Special Problem	Ekkachai Mahaek・ Nawit Ongsawangchai・ Tanut Waroonkun・ Apichoke Lekagul・ Pandin Ounchanum・ Rattapong Angkasith・ Burin Tharavichitkun・ Rawiwan Oranratmanee・ Chaowalid Saicharoent・ Sant Suwatcharapinun・ Karuna Raksawin	3	実習	○			(6)	(6)						*タイ・CMU との JDP(ジョイントディ グリープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時間 とする。
Seminar in Architecture I	Seminar in Architecture I	Pandin Ounchanum	1	講義	○			(1)	(1)						
Seminar in Architecture II	Seminar in Architecture II	Apichoke Lekagul	1	講義	○			(1)	(1)						
Seminar in Architecture III	Seminar in Architecture III	Pandin Ounchanum	1	講義	○			(1)	(1)						

1. 京都工芸繊維大学の開設科目より15単位以上、チェンマイ大学の開設科目より10単位以上、合計36単位以上を修得すること。
2. 修了にはGPA3.00以上及びTOEICスコア585点以上の成績が必要である。
3. ●Kは特定課題型の必修科目、●Tは論文型の必修科目を表す。
4. ☆は選択必修科目(☆Kから1単位以上、☆Cから3単位以上)
5. 建築士欄の●は必修科目、○は選択科目を示す。
6. 建築士のインターンシップ科目とインターンシップ関連科目から所定の単位を修得すれば、一級建築士の免許登録要件のうちの実務経験1年または2年と認定される。

(17) 先端ファイブ科学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を()で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 合格再履欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
6. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春	秋	③	④				
テキスタイルサイエンス	Textile Science	鋤柄佐千子・石井佑弥・YU ANNIE	2	講義	●	4				1年次	※	※	※
テキスタイルメカニクス	Mechanics for Textile	専攻長	2	講義	●	2	2			1年次、集中	※	※	
テキスタイルケミストリー	Chemistry for Textile	山田和志	2	講義	●	4				1年次	※	※	
テキスタイルデータサイエンス	Data-Science for Textile	横山敦士	2	講義	●	4				1年次	※	※	
テクニカルテキスタイル(テクニカルテキスタイルの応用 I)	Technical Textiles (Application of Technical Textiles I)	奥林里子	2	講義	☆	2				1年次、集中	※	※	※
テキスタイルの快適性と数値評価	Comfort and Computation of Textiles	佐久間 淳	2	講義	☆		2			1年次、集中	※	※	
感性とテキスタイル設計	Kansei and Textile Design	桑原教彰	2	講義	☆		4			1年次	※	※	※
テキスタイルエレクトロニクス	Electronics for Textile	山田和志・石井佑弥	2	講義	○		4			1年次、集中			
テキスタイル分析化学	Textile Analytical Science	山田和志	2	講義	☆			4		1年次、集中			
サステイナブルテキスタイル設計	Sustainable Textile Design	井野晴洋・(木村照夫)	2	講義	○		2			1年次、集中	※	※	
スタートアップセミナー	Start-up Seminar	バイオベースマテリアル学専攻関係教員	1	演習	☆	2	2			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※	
コンポジット設計	Composite design	大谷章夫	2	講義	○	4				2年次	※	※	
Kansei-Human設計	Kansei-Human Interface	(森本一成)	2	講義	○	2				集中 2年次		※	
プラスチック産業概論	Introduction to Plastic Industry	山田和志・(細田 覚)	2	講義	☆	4				2年次、集中	※	※	※
環境・運動生理学とバイオメカニクス	Environmental Physiology and Biomechanics	芳田哲也・YU ANNIE・山下直之	2	講義	○	2				2年次、集中			
社会の中の科学技術 I	Science and Technology Strategy I	木村 肇	2	講義	○	2				集中	※		
社会の中の科学技術 II	Science and Technology Strategy II	(小寺洋一)	2	講義	○		2			集中	※		
社会の中の科学技術 III	Science and Technology Strategy III	(神部匡毅)	2	講義	○	2				集中			
先端ファイブ科学特別講義	Advanced Fibro-Science Special Lecture	専攻関係教員	2	講義	○	2				1年次			
先端ファイブ科学シナジー I	Advanced Fibro Synergy I	専攻関係教員	1	演習	○	2				2年次、集中		※	
先端ファイブ科学シナジー II	Advanced Fibro Synergy II	専攻関係教員	1	演習	○		2			集中			
先端ファイブ科学セミナー I	Advanced Fibro-Science Seminar I	専攻関係教員	2	講義	●		2			1年次、集中		※	
先端ファイブ科学セミナー II	Advanced Fibro-Science Seminar II	専攻関係教員	2	講義	●		2			2年次、集中		※	
国際コミュニケーション演習	Seminar on International Culture Communication	専攻関係教員	2	演習	○	2	2			集中		※	
先端ファイブ科学インターンシップ I	Internship for Advanced Fibro-Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)			
先端ファイブ科学インターンシップ II	Internship for Advanced Fibro-Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、先端ファイブ科学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)			

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春		秋					
①	②	③	④										
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅰ	Advanced Fibro Science Seminar and Research Ⅰ	専攻関係教員	2	実験	●	6	6	1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅱ	Advanced Fibro Science Seminar and Research Ⅱ	専攻関係教員	2	実験	●	6	6	1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅲ	Advanced Fibro Science Seminar and Research Ⅲ	専攻関係教員	3	実験	●	9	9	2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅳ	Advanced Fibro Science Seminar and Research Ⅳ	専攻関係教員	3	実験	●	9	9	2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
特別課題実験及び演習Ⅰ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅰ	専攻関係教員	(2)	実験	●	(6)	(6)	1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
特別課題実験及び演習Ⅱ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅱ	専攻関係教員	(2)	実験	●	(6)	(6)	1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
特別課題実験及び演習Ⅲ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅲ	専攻関係教員	(3)	実験	●	(9)	(9)	2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
特別課題実験及び演習Ⅳ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅳ	専攻関係教員	(3)	実験	●	(9)	(9)	2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※				
特別研究	Special Research	専攻関係教員・木村 肇								※			

☆は、選択必修科目（6科目中2単位以上必修）

(18) 先端ファイブ科学専攻 (国際先端テキスタイル学コース)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 合格再履修欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	教職	合格再履
						1～2年次		春	秋			
						①	②					
先端テキスタイル加工-機械 I	Advanced and Specialized Textile Processing - Mechanical I	石井佑弥・(Carmen Visconte)	2	講義	●			2	集中、*			
先端テキスタイル加工-機械 II	Advanced and Specialized Textile Processing - Mechanical II	鋤柄佐千子・(Katarzyna Pieklak)	2	講義	●			2	集中、*、「先端テキスタイル加工-機械 I」を履修済のこと			
先端テキスタイル加工-機械 III	Advanced and Specialized Textile Processing - Mechanical III	佐久間淳・(Meiling Zhang)	2	講義	●			2	集中、*、「先端テキスタイル加工-機械 II」を履修済のこと			
先端テキスタイル加工-仕上げ	Advanced and Specialized Textile Processing - Finishing	奥林里子・(Jakub Wiener)	2	講義	●			2	集中、*			
バイオテクノロジー	Biotechnology	井野晴洋・(Vincent Nierstrasz)	2	講義	●			2	集中、*			
テキスタイルとナノテクノロジー	Nanotechnology in the Textile Branch	山田和志・(Dana Kremenakova)	2	講義	●	2			集中、*			
自動化と工程管理	Automation and Process Control	山下直之・(Zbigniew Stempien)	2	講義	●	2			集中、*			
衣服の縫製技術	Garment Technology	鋤柄佐千子・(Dominique C. Adolphe)	2	講義	●	2			集中、*			
テクニカルテキスタイルの応用 I	Application of Technical Textiles I	奥林里子	2	講義	●	2			集中			
テクニカルテキスタイルの応用 II	Application of Technical Textiles II	大谷章夫・(Ada Ferri)	2	講義	●	1	1		集中			
テクニカルテキスタイルの製造技術	Technical Textile Manufacturing Technology	大谷章夫・(Cornelia Sennewald)	2	講義	●			2	集中			
衣服の革新的製造と既製品産業における技術的応用	Innovative Methods for the Product Development Process for Garments and Technical Applications in the Ready-Made Industry	Yu Annie・(Doudou Zhang)・(Yordan Kyosev)	2	講義	●			2	集中			
テキスタイルの快適性と数値評価	Comfort and Computation of Textiles	佐久間淳	2	講義	●			2	集中			
サステイナブルテキスタイル設計	Sustainable Textile Design	井野晴洋・(木村照夫)	2	講義	●			2	集中			
マネジメント・物流・流通 I	Management, Logistics and Distribution I	横山敦士・(Rudrajeet Pal)	2	講義	●			2	集中			
マネジメント・物流・流通 II	Management, Logistics and Distribution II	横山敦士・(Rudrajeet Pal)	2	講義	●			2	集中			
インテリジェントテキスタイル	Intelligent Textiles	芳田哲也・(Lieva Van Langenhove)	2	講義	●			2	集中			
科学的思考	Scientific Thinking	桑原教彰・(Johan Braeckman)	2	講義	●			2	集中			
先端ファイブ科学特別実験及び演習	Advanced Fibro Science Seminar and Research	専攻関係教員	4	実験	●	12			2年次、*			
特別研究	Special Research	専攻関係教員										

*は、国際先端テキスタイル学コース生のみ履修可

(19) バイオベースマテリアル学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 合格再履欄に※がある授業科目については、既に合格した学生の再度の履修を認める。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応	合格再履
						1～2年次							
						春	秋	①	②				
スタートアップセミナー	Start-up Seminar	専攻関係教員	1	演習	●	2	2			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※	
バイオベースポリマー	Bio-based Polymers	田中知成	2	講義	☆C	4					※	※	※
バイオメディカル化学	Biomedical Chemistry	青木隆史	2	講義	☆C		4				※	※	※
生体分子立体化学	Stereochemical Aspects of Bio-molecules	(安孫子 淳)	2	講義	☆C			4			※	※	※
バイオカラーサイエンス	Biocolour Science	安永秀計	2	講義	☆C		4				※	※	※
バイオ機能材料	Bio-functional Materials	綿岡 勲	2	講義	☆M		4				※	※	※
ナノ材料物性	Properties of Nanomaterials	櫻井伸一	2	講義	☆M			4			※	※	※
ナノ材料構造	Structure of Nanomaterials	佐々木 園	2	講義	☆M	4					※	※	※
パイオナノファイバー	Bio-Nano Fiber	(山根秀樹)	2	講義	☆M	4					※	※	※
生物資源システム工学	System Engineering for Bio-resources	小原仁実	2	講義	☆B	4					※	※	※
環境資源科学	Environmental Resources Science	麻生祐司	2	講義	☆B		4				※	※	※
タンパク質機能構造	Functional Structures of Proteins	北所健悟	2	講義	☆B		4				※	※	※
植物機能工学	Plant Function and Technology	半場祐子	2	講義	☆B	4					※	※	※
テキスタイルサイエンス	Textile Science	鋤柄佐千子・石井佑弥・YU ANNIE	2	講義	☆共通	4					※	※	※
バイオベースマテリアル学セミナー	Seminar on Bio-based Materials Science	(相羽誠一)	1	演習	●		2			集中			※
バイオベースマテリアル学国際セミナー	International Seminar on Bio-based Materials Science	XU HUAIZHONG	1	演習	●	2				集中		※	
産学連携セミナー	Seminar on Academic-Industrial Cooperation	(北川和男)	1	演習	●	2				集中			※
バイオベースマテリアル学インターンシップ I	Internship for Bio-based Materials Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)			
バイオベースマテリアル学インターンシップ II	Internship for Bio-based Materials Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、バイオベースマテリアル学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)			
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 I	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science I	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※		
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 II	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science II	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※		
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 III	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science III	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※		
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 IV	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science IV	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※		
特別研究	Special Research	専攻関係教員										※	

1. 履修区分欄の☆は選択必修科目を示す。C、M、B、共通群の内、自己の登録した群の内から4単位、それ以外の2群からそれぞれ2単位以上を履修すること。

2. その他、専攻共通科目に指定する科目の内から2単位以上を履修すること。

2021年度工芸科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	IGP対応
						1～3年次					
						春	秋	①	②		
数理解析学	Studies in Analysis for Mathematical Sciences	矢ヶ崎達彦・朝田 衛・井川 治・奥山裕介	2	講義	○	2					※
応用解析学	Studies in Applied Analysis	峯 拓矢・磯崎泰樹・武石拓也	2	講義	○	2					
応用運動生理学	Applied Exercise Physiology	野村照夫・芳田哲也・来田宣幸・山下直之	2	講義	○		2				※
言語文化情報学	Lectures on Language and Culture	澤田美恵子・南 剛・深田 智・伊藤翼斗・吉川順子・塩屋葉子・山本以和子	2	講義	○	2					
学術英語研究	Academic English	羽藤由美・林千恵子・深田 智・竹井智子・坪田 康・サンドラヒーリ	2	講義	○		2			西暦奇数年開講	※
現代思想論	Studies on Modern Intellectual Trends	秋富克哉・北村幸也・人見光太郎・伊藤 徹	2	講義	○		2				※
視知覚理論	Theories of Visual Perception	大谷芳夫	2	講義	○	2					
ビジネスエンジニアリング特論	Topics in Bussiness Engineering	(某)	2	講義	○		2			集中	
マテリアルズイノベーション特論	Topics in Materials Innovation	(某)	2	講義	○		2			集中	
IGP 知的財産権特論	IGP Intellectual Property, Advanced	国際センター長・(某)・(某)	2	講義	○	2				集中 国際科学技術コース科目(HDSMSプログラム生推奨科目)授業は英語で行う但し、博士前期課程の「IGP 知的財産権論」既修得者は履修不可。	※
ICT活用産業創出特論	ICT-based Industry Creation Strategies, Advanced	国際センター長・(染原俊朗)・(田口貢士)・(水越達也)	2	講義	○	2				集中 国際科学技術コース科目(HDSMSプログラム生推奨科目)授業は英語で行う但し、博士前期課程の「産業創出論」又は「ICT活用産業創出論」既修得者は履修不可。	※
dCEPセッション(D) I	dCEP session (D) I	dCEP関係教員	2	演習	○	8				集中。履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可	
dCEPセッション(D) II	dCEP session (D) II	dCEP関係教員	2	演習	○	8				集中。履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可	
dCEPセッション(D) III	dCEP session (D) III	dCEP関係教員	2	演習	○	8				集中。履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可	
dCEPセッション(D) IV	dCEP session (D) IV	dCEP関係教員	2	演習	○	8				集中。履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可	
リーガルデザイン論	Legal design	日高一樹・(大西雅直)	2	講義	○		4			集中。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目	
ビジネスデザイン論	Business design	日高一樹・岡田栄造	2	講義	○		2			集中。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目	

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	IGP 対 応
						1～3年次					
						春	秋	①	②		
専門科目群（都市・建築再生学領域）											
地域設計プロジェクト特論Ⅰ	Regional Project of Architectural Design-I,advanced	専攻関係教員	2	演習	○	8				集中	※
地域設計プロジェクト特論Ⅱ	Regional Project of Architectural Design-II,advanced	専攻関係教員	2	演習	○		8			集中	※
地域設計プロジェクト特論Ⅲ	Regional Project of Architectural Design-III,advanced	専攻関係教員	2	演習	○			8		集中	※
地域設計プロジェクト特論Ⅳ	Regional Project of Architectural Design-IV,advanced	専攻関係教員	2	演習	○				8	集中	※
都市・建築再生学インターンシップⅠ	Internship for Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	6	演習	○	6		6		1・2年次	
都市・建築再生学インターンシップⅡ	Internship for Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	6	演習	○	6		6		1・2年次	
都市・建築再生学特別演習Ⅰ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	4	演習	●	4		4		1年次	
都市・建築再生学特別演習Ⅱ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	4	演習	●	4		4		2年次	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員									※

1. 修了要件として、専攻共通科目群より2単位以上、専門科目群より8単位以上で、自専攻科目より合計16単位以上修得すること。
ただし、必修科目は、「建築設計プロジェクトⅠ・Ⅱ」、「都市・建築再生学特別演習Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを選択すること。

7. 日本語科目

博士前期課程（修士課程）及び博士後期課程に所属する外国人留学生のために、以下の日本語科目を開講しています。

この日本語科目は、外国人留学生のみが履修することができます。

ただし、日本語科目の単位は、修了要件単位に含めることができません。

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	IGP 対 応
						春		秋			
						①	②	③	④		
日本語コミュニケーションⅠ	Japanese Communication I	(斑目貴陽)	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅡ	Japanese Communication II	(斑目貴陽)	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅢ	Japanese Communication III	(斑目貴陽)	1	演習	○		2				※
日本語コミュニケーションⅣ	Japanese Communication IV	(斑目貴陽)	1	演習	○		2				※
日本語コミュニケーションⅤ	Japanese Communication V	伊藤翼斗	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅥ	Japanese Communication VI	伊藤翼斗	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅦ	Japanese Communication VII	伊藤翼斗	1	演習	○		2				※
日本語コミュニケーションⅧ	Japanese Communication VIII	伊藤翼斗	1	演習	○		2				※
日本語コミュニケーションⅨ	Japanese Communication IX	澤田美恵子	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅩ	Japanese Communication X	澤田美恵子	1	演習	○		2				※
日本語初級Ⅰ	Japanese for Beginners I	(平野莉江子)	1	演習	○		2				※
日本語初級Ⅱ	Japanese for Beginners II	(平野莉江子)	1	演習	○			2			※

(1) 昆虫バイオメディカル教育プログラム

本プログラムは、国公大学が連携することにより、昆虫が有する優れた生物学的機能の解明と、そのヒト疾患研究や再生医療への活用をめざす独創的な医工農連携教育プログラムです。

下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了の認定をすることができます。

昆虫バイオメディカル教育プログラムの履修について

- ①履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を示します。
- ②以下の教科課程表から、必修9単位、選択必修科目6単位以上の計15単位以上の単位の修得が必要です。
- ③設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。
- ④受講するに当たり、交通費等について、一部自己負担がある場合があります。
- ⑤備考欄に「応用生物学専攻開講科目」または「機能物質化学専攻開講科目」の記載がある科目については、当該専攻学生に限り、修了要件に含めることができます。ただし、当該専攻以外の専攻の者については、他専攻の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。備考欄に専攻名の記載のない科目については、修了要件に含めることはできません。
- ⑥本学は、京都府立大学と単位互換協定を締結しているため、同大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻の科目を受講し、単位を取得することができます。その取得した単位は、本プログラムの選択必修科目の単位に含めることができます。なお、同大学院で履修した科目は修了要件にも含めることができますが、専攻共通科目、他専攻科目及び学部科目のすべてを含め、10単位を限度とします。

○昆虫バイオメディカル教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
				1～2年次				
				春		秋		
				①	②	③	④	
応用昆虫ウイルス学特論	小谷英治・高木圭子	2	☆			2		
疾患モデル昆虫学特論	井上喜博	2	☆	2				
染色体工学特論	吉田英樹	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講
昆虫工学特論	小谷英治・高木圭子	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目
バイオメディカル学特論	井上喜博	2	●			2		応用生物学専攻開講科目
進化ゲノム学特論	高野敏行	2	☆	2				応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講・集中
生体制御分子設計	小堀哲生	2	☆			2		機能物質化学専攻開講科目
ヘルスサイエンス学特論Ⅰ	井上喜博	2	●	2				応用生物学専攻開講科目 バイオメディカル分野のテクニカルセミナーあるいは京都府立医科大学、京都府立大学の研究紹介を含む
ヘルスサイエンス学特論Ⅱ	井上喜博・ プログラム関係教員	2	●			2		京都府立医科大学、京都府立大学の研究紹介あるいはバイオメディカル分野のテクニカルセミナーを含む
昆虫バイオメディカル特別実験 及び演習	井上喜博・関係教員	3	●			6		

特別教育プログラム（博士前期課程）

（２）繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

「繊維・ファイバー工学分野」の産業的な裾野は広がっており、グローバルな視点から見ると繊維産業は成長産業ですが、我が国の教育研究機関における教育者・研究者は激減しており、産業界から教育組織・体系の再構築や強化が強く求められています。

同分野の基礎から応用、製品開発までの一貫した知識・技術を修得させ、グローバルな視野を持ち、課題設定力・課題解決力、リーダーシップを兼ね備えた技術者、研究者を育成することを目的として、繊維・ファイバー工学コース教育プログラムを実施します。

下記に掲げる本プログラムに関する科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、繊維・ファイバー工学コース修了者として認定証を交付します。（国家資格ではありません。）

なお、以下本プログラムの履修は、2021年度大学院工芸科学研究科博士前期課程入学者からを対象とします。

繊維・ファイバー工学コース 教育プログラムの履修について

- ①本教育プログラムは、コース基幹科目及びコース連携科目からなります。
- ②履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
- ③本教育プログラムの認定には、大学院の科目（表1）のうちから、コース基幹科目の必修2単位及び選択必修4単位以上の計6単位、コース連携科目の選択科目を6単位以上の計16単位以上の単位を修得し、かつ、博士前期課程を修了することが必要です。
- ④大学院の科目（表1）のうち、備考欄に「専攻共通開講科目」の記載がある科目については、10単位まで修了要件に含めることができます。また、備考欄に「先端ファイブ科学専攻開講科目」、「バイオベースマテリアル学専攻開講科目」、「材料創製化学専攻」、「機能物質化学専攻」、「デザイン学専攻開講科目」の記載がある科目についても、先端ファイブ科学専攻、バイオベースマテリアル学専攻、材料創製化学専攻、機能物質化学専攻、デザイン学専攻の者については、それぞれ所属する専攻の授業科目の修了要件単位に、その他専攻の者については、他専攻の開講の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。ただし、専攻共通科目、他専攻科目、学部科目、単位互換制度等による他大学院科目のすべてを含め、10単位を限度とします。
- ⑤受講するに当たり、交通費等については、原則自己負担となります。なお、コース基幹科目実施のため、バス・宿泊先を準備することがあります。

○繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

表 1 (本学大学院博士前期課程科目)

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週 授 業 時 間 数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
コ ー ス 基 幹 科 目	繊維系合同演習	青木隆史・鋤柄佐千子	2	演習	●	4			集中、専攻共通開講科目 1年次
	繊維系資格概論	鋤柄佐千子・(松永伸洋)・(安部正毅)・(松原富夫)・(嶋田幸二郎)・(相馬成男)・(西中久雄)	2	講義	☆		2		専攻共通開講科目
	アカデミックインターンシップ (国内) I	先端ファイブプロ科学専攻関係教員・バイオベースマテリアル学専攻関係教員	1	実習	☆	2	2		集中、専攻共通開講科目、1年次、春又は秋学期開講 自己負担がある可能性有り
	アカデミックインターンシップ (国内) II	先端ファイブプロ科学専攻関係教員・バイオベースマテリアル学専攻関係教員	1	実習	☆	2	2		集中、専攻共通開講科目、1年次、春又は秋学期開講 自己負担がある可能性有り
	アカデミックインターンシップ (海外)	安永秀計・佐藤哲也	2	実習	☆	3	3		集中、専攻共通開講科目、春又は秋学期開講 自己負担がある可能性有り
	繊維・ファイバー工学特論 I	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	2	講義	☆		2		集中、専攻共通開講科目、「衣服の革新的製造と既製品産業における技術的応用」と同時開講(同科目の既修得者は履修不可)
	繊維・ファイバー工学特論 II	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、春又は秋学期開講
	繊維・ファイバー工学特論 III	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、春又は秋学期開講
	繊維・ファイバー工学特論 IV	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、春又は秋学期開講
	繊維基礎科学 (英語版e-Learning科目)	奥林里子	2	講義	☆		2		専攻共通開講科目
コ ー ス 連 携 科 目	テキスタイルデータサイエンス	横山敦士	2	講義	○		4		先端ファイブプロ科学専攻開講科目
	テキスタイルサイエンス	鋤柄佐千子・石井佑弥・YU ANNIE	2	講義	○	4			先端ファイブプロ科学専攻開講科目
	テクニカルテキスタイル (テクニカルテキスタイルの応用 I)	奥林里子	2	講義	○	2			先端ファイブプロ科学専攻開講科目・集中
	感性とテキスタイル設計	桑原教彰	2	講義	○		4		先端ファイブプロ科学専攻開講科目
	Kansei-Human設計	(森本一成)	2	講義	○	2			先端ファイブプロ科学専攻開講科目・集中
	サステイナブルテキスタイル設計	井野晴洋・(木村照夫)	2	講義	○		2		先端ファイブプロ科学専攻開講科目・集中
	バイオベースポリマー	田中知成	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオ機能材料	綿岡 勲	2	講義	○		4		バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	応用バイオ繊維科学	青木隆史	2	講義	○		4		材料創製化学専攻、機能物質化学専攻開講科目
	バイオメディカル化学	青木隆史	2	講義	○		4		バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオカラーサイエンス	安永秀計	2	講義	○		4		バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	生物資源システム工学	小原仁実	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオナノファイバー	(山根秀樹)	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	ヒューマンファクターとテクノロジー	小山恵美・北口紗織	2	講義	○	4			デザイン学専攻開講科目

(3) 計数理学コース 教育プログラム

本プログラムは、工学における専攻分野を生かしつつ数理学の幅広い素養を身につけた学生を育成することを目指しています。下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了が認定されます。

計数理学コース教育プログラムの履修について

- ① 履修区分欄に☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
(専攻専門科目については、次年度以降変更されることがあります。)
 - ② 本教育プログラムの修了認定には、次の条件をすべて満たすことが必要です。
 - (A) 以下の教科課程表から、合計 12 単位以上の単位を修得すること。
 - (B) 数理学特論 I・II・III より 4 単位以上の単位を修得すること。
 - (C) 数理応用代数・数理応用幾何・数理応用解析・数理応用統計より 2 単位以上の単位を修得すること。
 - (D) 代数学セミナー・幾何学セミナー・解析学セミナー・確率論セミナーより 2 単位以上の単位を修得すること。
- ただし、京都工芸繊維大学工芸科学部の対応する学部科目の修得単位をプログラム修了認定要件に含めることが出来ます。(学部在籍時に学部科目として取得した数学科目の単位を、博士前期課程の修了認定要件に含めることは出来ません)
- ③ このコースの教育プログラム教科課程表の備考欄には、各科目の属性等を示していますが、博士前期課程の修了要件に含めることができる単位については、大学院工芸科学研究科履修規則 別表 4 (第 5 条第 1 項関係) の (1) 修了に必要な単位数で確認してください。

○計数理学コース 教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週 授 業 時 間 数				備 考
					1~2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
数理学特論 I	武石拓也・奥山裕介	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理学特論 II	磯崎泰樹・峯拓矢	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理学特論 III	井川 治・矢ヶ崎達彦	2	講義	☆	2				専攻共通科目
プラズマ解析学	比村治彦・三瓶明希夫	2	講義	○	4				電子システム工学専攻専門科目
電子系の統計物理	萩原 亮	2	講義	○			2		電子システム工学専攻専門科目
情報伝送システム論	稲葉宏幸・梅原大祐	2	講義	○	4				情報工学専攻専門科目
形式的意味論	辻野嘉宏	1	講義	○	2				情報工学専攻専門科目
形式言語理論	辻野嘉宏	2	講義	○	4				情報工学専攻専門科目
計算流体力学	山川勝史	2	講義	○	4				機械物理学専攻専門科目
数値固体力学	高木知弘	2	講義	○	4				機械物理学専攻専門科目
確率応用システム論	澤田祐一	2	講義	○			4		機械設計学専攻専門科目
最適化理論	軽野義行	2	講義	○			4		機械設計学専攻専門科目
熱・統計物理学	八尾晴彦	2	講義	○			2		材料制御化学専攻専門科目
階層構造形成論	藤原 進・橋本雅人・水口朋子	2	講義	○	2				材料制御化学専攻専門科目
数理応用代数	朝田 衛	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用幾何	井川 治	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用解析	武石拓也	2	講義	☆			2		専攻共通科目
データサイエンスの数理	磯崎泰樹	2	講義	☆			2		専攻共通科目
代数学セミナー	奥山裕介・朝田 衛	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
幾何学セミナー	井川 治・矢ヶ崎達彦	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
解析学セミナー	峯 拓矢・武石拓也	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
確率論セミナー	磯崎泰樹	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目

(4) デザインセントリックエンジニアリングプログラム

デザインセントリックエンジニアリングプログラム (dCEP) は、社会の変化を俯瞰的に理解し、社会ニーズを利用者視点で見極め、革新的技術を新しい価値に結び付けてイノベーションを実現することのできる高度な工学系人材を育成するための、博士前期課程・後期課程一貫の教育プログラムです。

本プログラムはデザインシンキングを学ぶために提供されるdCEP 科目群と、デザインシンキングによる社会実装を目指す実習の場でありコースの中核となるセッションで構成されます。博士前期課程においてはデザインリサーチ論とプロトタイピング論が、博士後期課程ではリーガルデザイン論とビジネスデザイン論が、dCEP科目群として提供されます。

プログラムの中核となるセッションは、学生が研究対象とする革新的要素技術を社会実装に導く方法と課題抽出を学ぶ実習の場です。セッションには、社会的課題や真のニーズを提示するクライアントとしての企業・行政、課題解決に関連する異分野の専門家が参加し、実践的な発想力・俯瞰力をもつデザイナーや研究者がファシリテーターとなりセッションをリードします。セッションは学生が研究対象とする革新的要素技術(新材料、新機能素子、新システム、等)の社会的価値や経済的価値を見極めるために社会ニーズのリサーチから始まり、クォーターを一つのタームとして複数のセッションが実施されます。

デザインセントリックエンジニアリングプログラム 教育プログラムの履修について

1) 本教育プログラムは、別に定める「履修生募集要項」に基づき出願し、選抜試験に合格したものを対象としています。

2) 各所属専攻で大学院博士前期課程および大学院博士後期課程の修了要件を満たし、その上で、以下に示す要件全てを満たせば、博士後期課程の修了と同時に本プログラムの修了が認定されます。

・博士前期課程・博士後期課程で以下に示す24単位全てを修得すること。

・博士前期課程において、修士論文(特定課題)研究テーマで取り組む技術に関する社会的課題解決志向の研究開発計画書を立案、博士後期課程において、博士論文研究テーマで取り組んでいる技術に関する社会実装に向けた実用化計画書又は事業化計画書を立案して、セッションメンバーの評価と合否判定を受け、「合格」と判定されること。

なお、博士前期課程におけるプログラム履修の実績が無い場合においても、審査により博士前期課程の業績が認められれば博士後期課程からのプログラムの履修が可能となり、各所属専攻で大学院博士後期課程の修了要件を満たした上で、博士後期課程で以下に示す12単位全てを修得し、かつ、博士論文研究テーマで取り組んでいる技術に関する社会実装に向けた実用化計画書又は事業化計画書を立案して、セッションメンバーの評価と合否判定を受け、「合格」と判定されれば、博士後期課程の修了と同時に本プログラムの修了認定を受けることが可能です。

※ 本プログラムはあくまでも博士前期課程・後期課程一貫の教育プログラムですが、各所属専攻で大学院博士前期課程の修了要件を満たした上で、博士前期課程で以下に示す12単位全てを修得し、かつ、修士論文(特定課題)研究テーマで取り組む技術に関する社会的課題解決志向の研究開発計画書を立案して、セッションメンバーの評価と合否判定を受け、「合格」と判定されれば、博士前期課程の修了と同時に本プログラムの博士前期課程時点における修了が認定されます。

○デザインセントリックエンジニアリングプログラム 教育プログラム

大学院博士前期課程

授業科目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考
					1~2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
dCEPセッション(M) I	dCEP関係教員	2	演習	●	8				専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(M) II	dCEP関係教員	2	演習	●		8			専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(M) III	dCEP関係教員	2	演習	●			8		専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(M) IV	dCEP関係教員	2	演習	●				8	専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
デザインリサーチ論	門 勇一・岡田栄造・水野大二郎・dCEP関係教員	2	講義・演習	●		4			専攻共通科目開講科目
プロトタイピング論	SUSHI SUZUKI	2	講義	●				2	専攻共通科目開講科目

大学院博士後期課程

授業科目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考
					1~2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
dCEPセッション(D) I	dCEP関係教員	2	演習	●	8				専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(D) II	dCEP関係教員	2	演習	●		8			専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(D) III	dCEP関係教員	2	演習	●			8		専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(D) IV	dCEP関係教員	2	演習	●				8	専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
リーガルデザイン論	日高一樹・(大西雅直)	2	講義	●			4		専攻共通科目開講科目
ビジネスデザイン論	日高一樹・岡田栄造	2	講義	●				2	専攻共通科目開講科目

(5) 建築都市保存再生学コース 教育プログラム

現在進みつつあるストック型社会の実現に向けて必要となる、建築や都市の保存・再生の事業をリードできる人材を育成する大学院教育プログラムを、大学院博士前期課程建築学専攻において実施します。ここでは、従来の建築や都市の歴史学、文化財の制度やその保存技術、伝統的建築の構造解析や耐震補強、保存・再生のマネジメント、保存・再生のために求められる設計デザインなど、既存の建築学の分野を広く横断する知識と技能を集結し、それらを駆使しながら実際の事業を担えることができる高度な知識・技能を修得することを目的とします。実習や特別講義の多くは、KYOTO Design Lab.との連携により実施されるものです。

建築都市保存再生学コースの履修について

- ①このコースは大学院博士前期課程建築学専攻に設置されるもので、この専攻に所属する学生のみが履修することができます。
- ②大学院博士前期課程建築学専攻の2年次以降からこのコースを履修することもできます。
- ③大学院博士前期課程建築学専攻の修了要件を満たし、その上で、以下に示す16単位全てを修得し、かつ、コース修了試験に合格すれば、専攻の修了と同時に建築都市保存再生学コースの修了が認定されます。

○建築都市保存再生学コース 大学院博士前期課程

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	専攻履修区分	週授業時間数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	2	演習	○	8				集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	2	演習	○		8			集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	2	演習	○			8		集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	2	演習	○				8	集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅰ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○	2				集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅱ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○		2			集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅲ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○			2		集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅳ	専攻関係教員・ (田原幸夫)	1	講義	○				2	集中・建築学専攻科目
都市史	登谷伸宏・大田省一・ 岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	○	4				建築学専攻科目
建築史	西田雅嗣・松隈 洋・ 清水重敦・登谷伸宏	2	講義	○	4				建築学専攻科目

(6) 地域創生コース 教育プログラム

地域創生コースでは、各自が所属する各専攻の教育プログラムによって専門的な能力を有すると共に、京都府北部や北近畿をフィールドとして、地域の課題解決や地域発のイノベーションの創出が可能な人材を育成するための、博士前期課程の教育プログラムです。

本プログラムは、地域の課題解決や地域発のイノベーションの創出に必要な知識を学ぶための地域創生コース科目群と、京都府北部や北近畿をフィールドとした知識の実践の場を提供する産学協働PBLで構成されます。

地域創生コース科目群としては、「プロジェクトマネジメント論」、「デザインマーケティング」、「テックリーダー演習Ⅱ」、「IGP 知的財産権論」が提供されます。

産学協働PBLは企業の研究開発をテーマとした企業人とのディスカッションを通じて課題を発掘し、さらにその解決のための企画立案を行う、「産学協働プロジェクトⅠ」、そしてその企画を実行し試作検討まで行う「産学協働プロジェクトⅡ」、またプロジェクト連携企業の海外事業所において就業体験を行う「グローバルインターンシップⅠ、Ⅱ」が提供されます。

地域創生コース 教育プログラムの履修について

①本教育プログラムは本学の博士前期課程の学生の履修を想定していますが、履修希望者が多数の際には面接などの選考を実施することがあります。またその場合には本学の地域創生Tech Programを卒業した博士前期課程の学生を優先して選考します。

②各所属専攻で大学院博士前期課程の修了要件を満たし、その上で、以下に示す必修 4 または 5 単位を含む合計 8 単位以上を習得すれば博士前期課程の修了と同時に本プログラムの修了が認定されます。

○地域創生コース 教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
				1～2年次				
				春		秋		
				①	②	③	④	
産学協働プロジェクトⅠ	桑原教彰・大谷章夫・ (崔 童殷)	1	●	2				専攻共通科目 集中
産学協働プロジェクトⅡ	桑原教彰・大谷章夫	2	●	4				専攻共通科目 集中・履修定員有。 「産学協働プロジェクトⅠ」履修者のみ 履修可
グローバルインターンシップⅠ	研究科長	1	● I、II のい ずれ か必 修	2				専攻共通科目 集中
グローバルインターンシップⅡ	研究科長	2		4				専攻共通科目 集中
プロジェクトマネジメント論	専攻長・(萩原 徹)・ (榎本裕次郎)・ (久野孝希)	2	○	2				機械物理学専攻科目
テックリーダー演習Ⅱ	(坂井裕紀)	1	○	2				専攻共通科目 集中
IGP 知的財産権論	国際センター長・ (某)	2	○	2				専攻共通科目 集中 国際科学技術コース科目(授業は 英語で行う)

(7) グローバル教養プログラム

近年、グローバル化や少子高齢化など社会状況は急激に変化しています。これらの急激な変化に的確に対応でき、次代の社会を担うことのできる人材の育成が我が国の高等教育の急務となっています。このような状況の下、本学では、学部と大学院の一貫教育の実施、およびグローバル人材の育成強化等を目指して、教育制度の改革を精力的に実行しています。

この取り組みの一環として、平成27年度より大学院博士前期課程における教養教育科目（専攻共通科目）を大幅に拡充し、高い基礎学力に立脚した専門知識・技能の習得に加えて、外国語運用能力の習得やコミュニケーション力の強化を通じたリーダーシップの醸成、国際レベルの教養修得などを通して、グローバルな現場でリーダーシップを発揮し組織やプロジェクトを成功に導く高付加価値型人材の育成を目指したプログラムを実施します。

- ① 大学院博士前期課程の全学生を対象とします。
- ② 履修生が所属する各専攻の修了要件に加え、専攻共通科目から4単位（うち2単位は英語系科目）を修得し、総合計34単位以上修得した者に対して、専攻の修了と同時にプログラム修了者として認定証を交付します。
- ③ 各科目群の特徴は次のとおりです。
 - ・市民的教養とリーダーシップを育てる科目群・・・高等教養セミナー系、人文系、KIT大学院科目
 - ・国際共通語としての英語鍛え直し科目群・・・英語系
 - ・更なる高度な学習・研究段階へ進むための基礎となる専門科目群・・・数学系、高等教養セミナー系、人文系、自然科学系、KIT大学院科目
 - ・個々の学生のキャリア展望に応じたキャリアサポート科目群・・・インターンシップ系、KIT大学院科目

○グローバル教養プログラム

修了に必要な単位数（博士前期課程（修士課程） 国際科学技術コースを除く。）

専攻共通科目								総合計
数学系科目	英語系科目	高等教養セミナー系科目	人文系科目	自然科学系科目	インターンシップ系科目	KIT大学院科目	専攻共通科目合計	
	2						4	34